

くたはなせ 久多花脊

京都の洛北の山間部は日本海や琵琶湖、山陰地方への交通路でした。とりわけ、久多や花脊、芹生(せりょう)地域は鯖街道沿いであり、若狭小浜から新鮮に海産物を京都の市場へ運ぶ重要な中継地でもありました。要衝には城や寺、神社があり、そこには山間部ゆえに残った行事や民俗文化財などの他に廃寺・社も見られます。京都の市街を離れ、美しい山里の歴史散策を紹介します。



花脊の天然伏条台杉 (市指定天然記念物)

鍋谷山の支稜部井ノ口山に、樹高20mの伏条台杉群があります。



花脊のダイスギ (市登録天然記念物)

植林地の中に5本のダイスギの巨木が点在しています。



勢龍天満宮

文楽や歌舞伎で演じられる『菅原伝授手習鑑(すがわらでんじゅてならいかみ)』の四段「寺子屋」に登場する武部源蔵の屋敷跡に1943年、勢龍天満宮が地元により建立されました。【貴船神社奥宮から約5km】



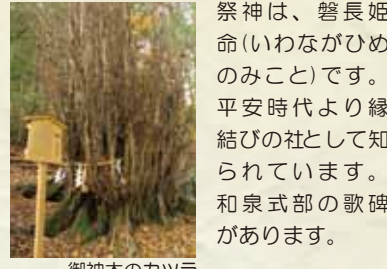
貴船神社

(貴布祢神社境内：市指定史跡)

本宮
貴船神社の総本社です。神代に、貴船山に貴船明神が降臨したという伝承があります。また、玉依姫命(たまよりひめのみこと)が貴船に乗り、摂津から淀川を経て貴船川を遡り、霊泉に水神を祀ったことが起源とも伝えられています。【貴船口駅前から本宮まで約2km 本宮から奥宮まで約1km】



中宮 結社



祭神は、菅長姫命(いわながひめのみこと)です。平安時代より縁結びの社として知られています。和泉式部の歌碑があります。

奥宮

創建当初の本宮です。本殿の下には龍穴があると伝えられています。玉依姫命が乗ってきた船を小石で覆ったと伝えられる船形石があります。本殿北側の道沿いには市指定天然記念物のカツラがあります。



**久多の大杉
(市登録天然記念物)**
久多川沿いの大川社にある樹高39m、幹回り6.59mの大木です。幹の南側では別の杉を1本巻き込んでいます。



志古淵神社

(市文化財環境保全地区)

祭神は安曇(あづみ)川流域の地主神、志古淵神です。近年、本社の堂内から国内最古とみられる、平安時代後期の木造五輪塔(市指定有形文化財)が発見されています。【能見口から約10km・葛川(かつらがわ)橋の木から約6.5km】



本殿(市指定有形文化財)

花笠踊り

(国指定重要無形民俗文化財)

毎年8月24日に室町時代から伝えられる風流灯籠踊りの一つ、花笠踊りが志古淵神社の水神に奉納されます。



撮影/谷口千恵子

久多の山の神・お弓

(市登録無形民俗文化財)

毎年1月3日に境内に合祀された山の神の祭が行われます。宮座の組織に受け継がれた市内では希少な山の神行事の一つです。



写真提供 久多山協会

峰定寺

(市指定有形文化財)

平安時代末期、僧西念が千手観音菩薩(重要文化財)を安置し創建したとされています。鳥羽上皇が毘沙門天と不動明王(重要文化財)を、平清盛が仏舎利、十六羅漢像を奉納しています。平安時代末期創建の懸崖(けんがい)造りの本堂、開加井屋(あかい)の遺構、仁王門は重要文化財です。【大悲山口から約2.2km】



峰定寺境内(府歴史的な環境保全地域)【峰定寺から約1.4km】

峰定寺三本杉

峰定寺境内にある樹齢1200年の三本杉は林野庁「森の巨人たち100選」京都府「京都の自然200選」に指定されています。



三本杉

松上げ

(市指定無形民俗文化財)

毎年8月、花脊、久多、広河原では、精霊送りや火災防止、五穀豊穡を祈る松上げ行事が行われます。愛宕神社への聖火奉納に由来するといわれます。



写真提供 久多山協会

鞍馬寺

(市指定有形文化財)

寺伝では、神護景雲4年(770)僧鑑禎(かんてい)を草創とし、延暦15年(796)藤原伊勢人(いせんと)が伽藍を造営し、北方鎮護の道場としたのを起源とします。鞍馬弘教の大本山です。牛若丸を題材とした能の『鞍馬天狗』や、6月20日に行われる「竹伐り会式(たけかりえしき)」(市登録無形民俗文化財)、阿吶の虎などが有名です。【鞍馬寺仁王門から西門まで山中を2.5km】



僧正ヶ谷不動堂



背比べ石 木の根道

霊宝殿

鞍馬山の動植物の収集資料や源義経伝承、鞍馬寺の歴史資料が展示されています。毘沙門天三尊立像(国宝)、鞍馬経塚の出土品(国宝)も展示・公開されています。



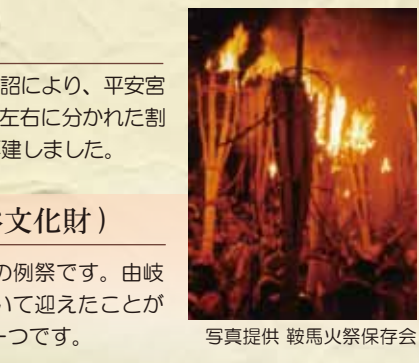
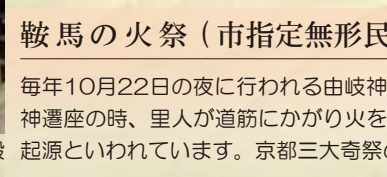
牛若丸

源義経は幼年牛若丸の頃、鞍馬寺に預けられ、学業に励むとともに、僧正ヶ谷や木の根道付近で武術の修行を行ったといわれます。奥の院への道筋に「背比べ石」ほか伝承の跡があります。

由岐神社

(市指定有形文化財)

鞍馬寺の鎮守社です。940年、朱雀天皇の詔により、平安宮に祀られていた由岐神が遷座されました。左右に分かれた割(にない)拝殿(重要文化財)は、豊臣秀頼が再建しました。



写真提供 鞍馬火祭保存会

鞍馬の火祭

(市指定無形民俗文化財)

毎年10月22日の夜に行われる由岐神社の例祭です。由岐神遷座の時、里人が道筋に火をつけて迎えたことが起源といわれています。京都三大奇祭の一つです。

久多花脊 鞍馬貴船



～文化財と遺跡を歩く～

京都歴史散策マップ



発行 京都市・(財)京都市埋蔵文化財研究所

久多花脊 鞍馬 貴船周辺の発掘調査

久多花脊鞍馬貴船は左京区の北部にある山間地です。市内最北部にあたる久多地区は、古代から木材の供給地で、平安時代には藤原道長が建立した法成寺の領地があったとされています。中世には土豪久多氏が領主を務め、久多氏により築かれた久多城跡が山中に今も残ります。また、近江との繋がりも深く、近世には旗本朽木(くつき)氏の所領ともなりました。久多川畔に鎮座する地元の地主神・志古淵神社は古代に住民の信仰を集めており、近年、神社に保管されていた木製では最古とみられる平治元年(1159)銘の木製五輪塔が市有形成文化財に指定されました。花脊地区では旧花脊峠北方の山腹で経塚8基が発見され、地名から花脊経塚群と名付けられました。花脊地区の西端にあたる芦生(せりょう)峠治いには芦生遺跡や芦生不動平遺跡が発見されています。鞍馬 貴船地区は京都と丹波、若狭を結ぶ鞍馬街道沿いの集落です。平安時代初期に創建された鞍馬寺があり、本堂背後の山腹では経塚が発見され、出土した遺物は一括で国宝に指定されています。周辺には他に経塚が点在しており鞍馬山経塚群として知られています。貴船川上流には水神を祀る貴船神社が鎮座しています。また鞍馬街道沿いの鞍馬二ノ瀬町の民家裏から、市内での出土量としては最多の古銭が発見されました。

① 久多城跡

左京区久多中の町山中に、土豪久多(岡田)氏により築かれた山城跡です。城は久多川と大谷川に挟まれた南東に張り出す尾根上に築かれ、南側の久多の集落が見渡せる山頂には、主郭(しゅかく)とおもわれる平坦地がみられます。西北の斜面には曲輪(くるわ)跡が残ります。



久多城の遠景 民家の背後の山中に城跡が残る



西北斜面の曲輪跡



頂上平坦地の主郭跡

② 木製五輪塔(志古淵神社)

五輪塔は、故人の追善供養のためのもので塔型をしており、地、水、火、風、空を表す五輪を積み上げ、各輪に梵字を記します。地輪には造塔の趣意、紀年、施主名などが記してあります。久多中の町の志古淵神社で保存されていた木製五輪塔には、平治元年(1159)十二月九日の紀年銘が墨書され、納入品が認められる最古の木製五輪塔(高さ約30cm)として、2012年度に市有形文化財(美術工芸品)に登録されました。平安時代後期の院政期に、地域ゆかりの僧を供養するために作られたものではないかといわれています。



志古淵神社(左京区久多中の町)



木製では最古とみられる「木製五輪塔」

(写真提供 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課)

③ 花脊経塚群

経塚とは仏教の経典が書かれた経巻を青銅の筒に納め、壺や石室内に納入して、小規模な塚を築いたものです。おもに平安時代後半から鎌倉時代にかけて全国的に造られました。大正時代から昭和時代の初めにかけて、植林作業中に左京区花脊別所町の山中で経塚8基が発見され、まとめて花脊経塚群と総称されています。出土した遺物には銅製経筒や火舎、花瓶、青白磁合子、皿など多数あり、大部分が1938年に重要文化財に指定されています。



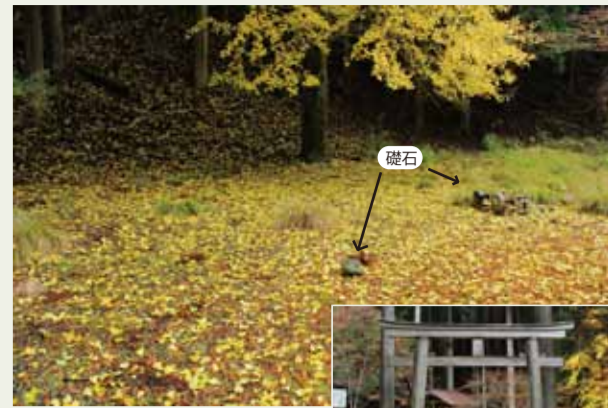
経塚跡とみられる平坦地(左京区花脊別所町山中)



散在する石材(左京区花脊別所町山中)

④ 芦生遺跡

2005・6年に右京区京北一帯で行われた分布調査で、勢龍(せりょう)天満宮祠裏で平坦地と建物の礎石などが確認されています。天満宮付近は菅原道真の家臣・武部源蔵(たけべけんぞう)屋敷跡という伝承が地元に残されています。



祠裏の伝武部源蔵屋敷跡(右京区京北芦生)



勢龍天満宮(右京区京北芦生)

⑤ 芦生不動平遺跡(せりょうぶどうだいらいせき)

2005・6年に右京区京北一帯で行われた分布調査で、芦生灰屋川上流沿いの平坦地に五輪塔、石仏、墓石の集積地や北側には礎石や高まりが確認されました。中世の寺跡と考えられます。



平坦地に残る礎石跡(右京区京北芦生)



五輪塔、石仏、墓石の集積地(右京区京北芦生)

⑥ 鞍馬山経塚群

鞍馬寺本堂背後の山腹に、平安時代後期から鎌倉・室町時代にかけて営まれた経塚群です。鞍馬寺本堂背後からは、明治時代から昭和時代初めまでに、多量の遺物が発見されています。出土した遺物は、銅製経筒や蓋、宝塔、青白磁合子、水晶玉など多数あり、1995年に一括で国宝に指定されています。



経塚とみられる高まり(境内)



経塚上に置かれていた石宝塔(本堂裏付近)



経塚の蓋石とみられる大石(本堂付近)

⑦ 鞍馬二ノ瀬町埋納銭出土地

1998年鞍馬二ノ瀬町で石垣工事中に大量の埋納銭が発見されました。鞍馬街道沿いの民家裏の西向き斜面で見え、銭の総数は約3万8千枚あり、一度に出土した量としては市内最多でした。出土銭の大半は中国からの渡来銭です。埋められた時代は見つかった土器や銭の製造年代から14世紀中頃とみられています。出土品は市に寄贈され、市有形文化財(考古資料)に指定されました。



埋納銭出土地



埋納銭出土状況



ござの上に広げられた大量の埋納銭



出土した埋納銭の一部



埋納銭出土地点(説明版が設置されています)



資料提供：財団法人京都市埋蔵文化財研究所



京都市考古資料館

大正3年に本野精吾の設計で建てられた旧西陣織物館を内部改修し、京都市内の発掘調査・研究の業績を発表・展示するため昭和54年11月に設立されました。特別展と常設展で構成され、約1000点の遺物が展示されています。遺物展示のほかにも、映像やパソコンで旧石器時代から近世にかけての京都の歴史を学ぶことができます。建物は、昭和59年に京都市有形文化財に登録されています。

〒602-8435
京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265-1
TEL. 075-432-3245 FAX. 075-431-3307
http://www.kyoto-arc.or.jp/museum/

入館無料・月曜休館(月曜が祝日の場合は翌日)
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

JR京都駅より地下鉄烏丸線 今出川駅下車徒歩15分
市バス201・203・59系統 今出川大宮下車すぐ

